## 平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名 だれもがいきいき幸せに暮らせるまち

施策番号・名 14 高齢者福祉の推進

基本事業番号・名 14-02 交流の場確保

	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果排		T			事務事業全体	一般財源分			材源分	
事務事業番号	事務事業名							(意図したこと 数値指		事業費	人件費 (理論値)	トータルコスト		特定	特定財源に伴う一般財源		一般財源	全庁評価会議
				45-19	実績値		実績値	11c 100	実績値	1	2	1)+2)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	事業費	宇結類)		事務事業の方向性、項目別評価	(24年度に向けた 方向性等)
				指標	(単位)	指標	(単位)	指標	(単位)	(千円)	(千円)	(千円)		(千円)	事業費の概要説明	(実績額	及びその理由等	
14-02-01	福祉総務課高齢者福祉係	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	満75歳以上の、住民基本台帳あ	,	平成22年度	43 ) 度 24 大会参加者数 ) 度 00	平成22年度	参加者数/対象高齢者数	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	E 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	0年度	平成22年月	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	
		根拠 (国) 老人福祉法 法令 (市) 東久绍米市高齢者慶祝事業宝施英綱	対象 るいは外国人登録原票に記載のある 市民		11,943		324		2.7	2.7	<b>E</b> 10	099	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	<b>率性</b> 3		41	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	
		(市) 東久留米市高齢者慶祝事業実施要綱 等		市内在住の高 ( 1 7 7 0 歳以上。1 8 年度 0歳以上。5 8 年度 0歳以上。1 8 年度 0歳以上。5 1 8 年度 0 1	(人)		(人)		( % )	411	411 512	920	923 説明欄:当市の75歳以上の高齢者を対象とした敬老大会は、近隣のどの市でも同様に			41	所管課長 福祉総務課 渋谷 千春 説明欄:当市の75歳以上の高齢者を対象とした 敬老大会は、近隣のどの市でも同様に行なっている事業であり、必要性と有効性は高いと考え る。そこでの運営方式については、式独は別としてアトラクションを民間事業者に委託する例 もあるが、当市では運営そのものを実行委員会 形式で行ない、アトラクションは市文化協会の 協力で行なっており、妥当な経費で行なっている。 「海神郎」と対象性については、大の参加」	
	敬老大会事業		手段 市と社会福祉協議会の共催により、生涯学習センターで式典とアトリ内容 ラクションを年1回実施する。		平成21年度		平成21年度		平成21年度	成21年度 平成21年度	平成21年度	平成21年度	■行なっている事業であり、必要性と有効性	平成21年度		平成21年月		
		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額			10,324		307		3.0	457	552	1.009	間事業者に委託する例もあるが、当市では 運営そのものを実行委員会形式で行ない、			45		
		上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(人)		( % )	101	552	1,000	ペアトラクションは市文化協会の協力で行なっており、妥当な経費で行なっている。 - 達成度と効率性については、大会の参加人			10		
		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	₹数を増やすため、市報での周知に加えて、 老人クラブへの勧誘等に努めている。な	平成20年度		平成20年月		
		事業 形態 ■ 一部委託 □ 補助・助成金			9,500		250		2.6	400	541	941	お、平成22年度予算計上の食料費の執行は 行なわなかった。	r上の食料費の執行は		40		
		□ その他( )			(人)		(人)		( % )									27 UL 188
14-02-02	福祉総務課	□ 自主的 □ 義務的 ■ 努力義務的	対象   老人クラブ及び老人クラブ連合会		平成22年度		平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	平成22年度	説明欄:人件費であり、 老人クラブの活動状況の 連絡調整と、助成金に件	平成22年	24年度以降に向けた方向性:	説明欄:
	高齢者福祉係	根拠 法令 (国) 老人福祉法		6 0 歳以上の 高齢者数	35,875	老人クラブ助成金	9,844		1,837	9,844	1,225	11,069	必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	6,354	理解調整と、切成並に円 う事業状況並びに予算執 行状況の把握を行い、適 正な運営への指導・監督 を行うことが主な業務で ある。	í	必要性 有効性 達成度 効率性	率性
		等 (市) 平成22年度東久留米市老人クラブ補助金交付要綱	②芸能、スポーツなどを主催、世代 間交流の大会の実施、広報活動等。		(人)		(千円)		(人)				「説明欄:市内の老人クラブは28団体(外に老人クラブ連合会1団体)あり、高齢者 「が増加する中で、地域の活動を活性化する	,		*	所管課長 福祉総務課 渋谷 千春	
					平成21年度		平成21年度	+v 1 1		平成21年度	平成21年度	平成21年度	ために、老人クラブ助成金は必要性が大き く、また、団体の活動状況の調査によって	平成21年度		平成21年月		
		財源 □ 全額補助 ■ 一部補助有 □ 市全額			33,672		9,851	老人クラブ加 入者数	1,906	9,851	1,248	11,099	も有効性は大きいと考えられる。ただし、 老齢人口が増えている一方で、老人クラブ 加入者数は減少しており、それクラブの活	6,360				
		上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)			(人)		(千円)		(人)				動の周知を行い、加入者を増やす必要があ  り、現状の加入率27.4%を向上させ、				-	
		□ 直営(委託無) □ 全部委託			平成20年度		平成20年度	-	平成20年度	平成20年度	平成20年度		₹より高い達成度と効率的な助成金の活用に 努める必要がある。	舌用に 平成20年度		平成20年月	<u>F度</u>	
		形態 □ 一部委託 ■ 補助・助成金 ■ 一番	高齢者が地域で生きがいを持って生活できる。		34,058		9,880		1,949	9,997	1,236	11,233		6,504				
		□ その他( )		(人)		(千円)		(人)						説明欄:			説明欄:	
	地区センター管理事業	■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的	①市民 対象 ②この内、老人福祉センター利用者	+	平成22年度	度 保守点検委託契 約件数	平成22年度	1 人当たりの 年間利用件数 (利用者述べ 人数/対象年 齢人口)	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持   現状維持	平成22年度		平成22年月	ほ 24年度以降に向けた方向性: 現状維持	施設関連経費の縮減
		機拠 (国) 老人福祉法 (市) 東久留米市地区センター条例及び同 条例施行規則	は、満60歳以上の利用証交付者。	利用者延べ人数	171,100		8		4.8	67,321	500	500 67,821	必要性 4 有効性 3 達成度 4 効率性 3 説明欄:対象者は60歳以上で、地域で活動	_		67,32	必要性   4   有効性   3   達成度   4   効率性   3   1   1   1   1   1   1   1   1   1	
			単体地区センター 5 か所は社会福祉協議会が、地域センター内地区センタースか所は特定非営利活動法人内容 管理者として運管理運営している。    地域の交流の場の提供として、 (1)会議室の貸出 ②高齢者の社交場 (3)地域の情報提供		(人)		(件)		(回)			rm Educati	する場の提供として必要性と有効性は大きい。平成23年度から5年間の指定管理者	定管理者	平成20年度		所管課長 福祉総務課 渋谷 千春 説明欄:対象者は60歳以上で、地域で活動する	
					平成21年度				-		平成21年度 平成	平成21年度	こし、 紫平陽比を時間 9 のことが 1 に また、指定管理者と定期的な協議の場を設けることにより、従来以上に、課題解決の 達成度と効率性を上げ、利用者の意見を聞く機会が増えるものと考える。なお、風呂の運営は、利用者の実態を踏まえた評価が必要である。			半成21年	様場の提供として必要性と有効性は大きい。平成 - 23年度から5年間の指定管理者応募を行い、 選定した結果、従来と同一の事業者となったも	
14-02-03							8			67,268	249	67,517				67,26	3 一のの、指定管理料の精査、管理備品の整理、会 議室予約日の改善、利用者意見の反映の場の設	
		上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出) □ 直営(委託無) ■ 全部委託			(人)		( 1+ )		( II )	亚中的在库	F TUCHOO E FE T	亚巴尔在中					定等を反映して、基本協定を締結することがで きた。また、指定管理者と定期的な協議の場を 長設行ることにより、従来以上に、課題解決の達 は、おかり、はまれる。	
					平成20年度		平成20年度		<b>平成20年度</b>		平成20年及	平成20年度		1		平成20年)	成度と効率性を上げ、利用者の息見を聞く機会 が増えるものと考える。なお、風呂の運営は、 利用者の実態を踏まえた評価が必要である。	
		事業 形態 □ 一部委託 □ 補助・助成金 □ その他( )			(人)		(件)		(回)	67,321	247 67	67,568				67,32		
14-02-04		■ 自主的 □ 義務的 □ 努力義務的			平成22年度		平成22年度				平成22年度	平成22年度	と 24年度以降に向けた方向性: 縮小	平成22年度	説明欄:	平成22年	24年度以降に向けた方向性: 縮小	説明欄:
		根拠 法令 等 場合 等 場合 を は は は り き に 進 め る 生 き が い り も に き め る 生 き ら り も り も り も り も り も り も り も り も り も り	対象市内に居住する元気高齢者	_	35,875		318	主催自主事業への参加者数	1,508		T/X224/X	1	必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3					行財政改革アクション プラン(補助金等の適 正化)→事業内容、決
			①主催 7 事業 (さわやかスポーツ、		(人)		(人)		(人)	1,000	1,222	,222 2,22	説明欄:事業当初の市からの委嘱委員から 団体運営への助成となったが、役員の固定	-	成21年度 3	1,00		算等の検証
					平成21年度		平成21年度			度 平成21年度 平	平成21年度	平成21年度	回体理員への助成となったが、役員の固定 - 化等により、助成金の必要性と有効性が従 長来より低いと判断している。そのため、補	平成21年度		平成21年月	説明欄:事業当初の市からの委嘱委員から 団体運営への助成となったが、役員の固定	
		財源 □ 全額補助 □ 一部補助有 ■ 市全額	・ づくり、講演会) 内容 の参加9事業 (子どもすつり 市民	60歳以上の 自動者製		活動した述べ人 数			29.4				助対象事業経費の執行の精査では、食料費等の補助対象外経費を精査する等、適正な補助金の執行に努めるよう指導するとともに、活動周知のため、市でも市報の掲載等で支援・協力し、参加者を増やして、達成度と効率性についての向上の余地があるの				- 団体連貫への助成となったが、役員の固定 - 化等により、助成金の必要性と有効性が従来より低いと判断している。そのため、補	
		上乗 □ 市独自上乗せ(上乗・横出)	まつり) ③定例会(年12回)、研修、事業準備	同即有級	(人)	效	(人)		(人)	1,000		2,245				1,00	) 助対象事業経費の執行の精査では、食料費 等の補助対象外経費を精査する等、適正な	
	木	□ 直営(委託無) □ 全部委託	元気な高齢者を対象とした施策を、 意図 高齢者自らが中心となった主体的な 団体として、活動を行ってもらう。		平成20年度		平成20年度			要 平成20年度 平成2 2	平成20年度			平成20年度		平成20年	補助金の執行に努めるよう指導するととも に、活動周知のため、市でも市報の掲載等 平成20年度 で支援・協力し、参加者を増やして、達成	
		事業 形態 □ 一部委託 ■ 補助・助成金			33,535		89		462						F		度と効率性についての向上の余地があるの か見守る必要がある。	
		形態 □ その他( )		(人)		(人)		(人)	1,000	1,233	.,233 2,233				1,00			
				I			-						L			1	l	